

第14回勝山市生活交通地域協議会 会議録要旨（令和元年度 第1回）

1.開催日時：令和元年6月17日（月）14時40分～15時10分

2.開催場所：勝山市役所 3階 第2・3会議室

3.出席委員：敬称略

委員	福井大学 教授	野嶋 慎二（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	江口 郁雄
	首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課	西野 光
		（代理 川崎 香織）
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	高原 嘉之
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	嶋田 久則
	勝山市副市長	水上 実喜夫（会長）
	勝山市教育部長	谷口 文弘
	勝山市建設部長	木下 秀樹
	勝山市産業・観光部長	山本 典男
	勝山市健康福祉部長	谷出 雅博
	勝山市総務部長	伊藤 寿康
事務局	勝山市市民生活部市民・環境・税務課課長	河野 誠
	主任	森 弘章
	主査	林 賀代

4.欠席委員：国土交通省中部運輸局福井運輸支局運輸企画専門官（輸送・監査担当）吉留俊郎  
京福バス株式会社 経営推進室企画営業グループ 部長 矢部 良智

5.傍聴人の数：0人

## 6.報告事項

- (1) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

## 7.議題

- (1) 令和 2 年度生活交通確保維持改善計画のローリング

## 8.会議資料

資料 1 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）二次評価結果

資料 2 令和 2 年度生活交通確保維持改善計画

## 9.議事等内容

- (1) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

- (2) 令和 2 年度生活交通確保維持改善計画のローリング

委員 高齢者の免許自主返納について、南越前町でバスの無料券、タクシー利用券 15,000 円分 10 年間交付していると聞いた。勝山市でも同じように支援をできないか。商店街を結ぶ無料のタクシーの実施も聞いたことがある。免許返納者に対して勝山市でも積極的に大きな支援をお願いしたい。

事務局 勝山市でははじめ 3 年間期限付きでバスの無料乗車券を発行したが、現在は無期限でバスの無料乗車券を発行している。タクシーの乗車券は難しいが、他に支援できるものがないか検討する。

委員 実際にやっている自治体があるのだから、是非お願いしたい。

座長 自主返納された方への支援の強化ということで、今後またご検討をお願いします。

座長 バスの乗り方教室についてその効果、参加者の反応など教えていただきたい。

事務局 去年は公民館で 2 カ所行った。デマンドについて電話をかけるということが高齢者にとってハードルが高かったようで、そこを丁寧に説明したことで、利用しやすくなったという声が聞こえた。

座長 乗車の可能性が広がると思うので、今年も継続し行っていただきたい。

委員 バス停の見直しについて、利用者がいないバス停は廃止してもいいのではないか。

事務局 定時定路線のバス停で利用者がいないバス停もあると思う。年間通して利用者がいないバス停は検討させていただきたい。廃止となると地区の方から乗らなくても廃止しないでほしいと意見も出る。一度作ると廃止するのは難しいが、そういう意見でたということでバス停の廃止やコース変更も検討させていただきたい。

座長 乗降者数の増減などをみても、定期的なバス停の見直しは有効と思われる。今後検討していただきたい。

座長 高齢者の方のバスの利用促進について、困ったことなど何かございましたらお願いします。

委員 今回のバスの路線では自分の行きたい場所と時間が合わないという意見があり、希望を聞けばバスが家の近くまで来てほしい、タクシーの料金を半額にしてほしい、家の前にバス停があれば良いなど無理なことを言う人もいて、意見をまとめるににくい。できれば、市の方から各地区の座談会などに出向いて意見を聞いていただきたい。

事務局 今回の路線を作るとき、各公民館に行って話はお聞きしたが夜の開催のため参加者が実際にバスに乗られる方かというところではなかったかもしれない。バスの乗り方教室で行った時に高齢者の方から直接意見が聞けると思うので、乗り方教室で意見聴取する。

委員 定時定路線で細かく回っていただくことは可能なのか。

事務局 デマンドは予約のあったところだけ迎えに行く。定時定路線でデマンド区間のバス停を運行しようと思うと時間がかかる。遅羽線についてもデマンド区間であり、予約のあったバス停に行き、限られた時間の中で運行事業者の協力を得て時間通り運行している。定時定路線で運行する場合はバス停に限られるので、デマンド方式が利用しやすいのではないかと考える。バスの乗り方教室で予約の仕方や、バス停の場所などしっかり説明していきたい。

座長 それでは令和2年度生活交通確保維持改善計画についてご承認いただける方は拍手をお願いします。

一同 承認